

# 令和5年度 北信越地区審判講習会 報告書

新潟県高等学校野球連盟 審判部

北支部 秋山 大介  
佐藤 真和

2023年5月20日から21日の2日間、福井県営球場にて開催されました  
北信越地区高等学校野球連盟が主催、福井県高等学校野球連盟が主管の標記の審判講習会に  
参加させていただきました件を下記の通りご報告いたします。

1. 主 催 北信越地区高等学校野球連盟
2. 主 管 福井県高等学校野球連盟
3. 日 時 令和5年5月20日(土) 12:30 ~ 21:00  
令和5年5月21日(日) 8:20 ~ 13:00
4. 場 所 福井県営球場(福井市角折町17-18)
5. 講 師 (公財)日本高等学校野球連盟派遣講師4名  
日本高等学校野球連盟 審判委員幹事 長谷川 次 郎 講師  
同 上 審判規則委員会 規則委員 野 口 敏 行 講師  
同 上 審判規則委員会 規則委員 小 林 憲 央 講師  
同 上 審判委員 前 坂 金 哉 講師
6. 補 助 講 師 令和5年度の全国審判講習会に参加した各県審判員1名 計5名  
半 田 悟 氏(長野県) 加 藤 祐 介 氏(新潟県)  
林 敦 氏(富山県) 国 雲 正 樹 氏(石川県)  
吉 田 義 孝 氏(福井県)
7. 受 講 者 長野・新潟・富山・石川 各県4名 福井県16名 計32名
8. 宿 舎 福井アカデミアホテル (福井市菅谷1丁目1-22)
9. モデルチーム 5月20日(土) = 北陸高等学校・啓新高等学校  
5月21日(日) = 福井工業大学付属福井高等学校・県立福井商業高等学校

## 10. 日程表

第1日 5月20日(土)

福井県営球場

番号	開始	終了	時間	場 所	内 容	班
1	12:15	12:40	0:25	会議室	スタッフ事前打ち合わせ(メニュー、担当等の確認)	スタッフ
2	12:40	12:50	0:10	グラウンド	集合準備	全員
3	12:50	13:00	0:10	本塁前	開講式(挨拶・講師紹介)	
					①竹本 俊輔(福井県高野連会長挨拶)	
					②山本 隆宏(福井県野球連盟審判部長挨拶)	
					③講師紹介	
					④日程等連絡	
⑤モデルチームへの挨拶(北陸高等学校/啓新高等学校)						
4	13:00	13:30	0:30	外野	◆発声・ジェスチャーの基本練習、球審(マスクの取り外し)【担当 前坂/吉田(福井)】	4班
5	13:30	13:45	0:15	本塁周辺	○球審の基本動作とストライクゾーン運用の説明【担当 半田(長野)/小林】	
					①位置と姿勢、トラッキング ②ストライクゾーン	
					③ジェスチャーとコール(タイミング) ④ハーフスイングの判定	
6	13:45	14:25	0:40	本塁周辺4ヶ所	◆投球判定練習(10分×4ヶ所) ★「安定した構え」と「トラッキング」	全員
7	14:25	14:35	0:10	3塁周辺	○打球判定の説明【担当 加藤(新潟)/前坂】	
8	14:35	14:55	0:20		◆打球判定の練習(10分×2ヶ所)	2班
					①ベースを渡る打球 ②レフト/ライト位置のライナー	
					③センター方向の打球に対する連携	
9	14:55	15:10	0:15		休憩	全員
10	15:10	15:25	0:15	1・2塁	○フォースプレイ判定の説明【担当 国雲(石川)/前坂】	2班
11	15:25	15:45	0:20	内野	◆フォースプレイ判定練習(走者なし・走者1塁)10分で交代 ★適切な「角度」と「距離」	全員
12	15:45	16:00	0:15	2塁	○タッグプレイ(盗塁判定)の説明【担当 林(富山)/前坂】	2班
13	16:00	16:20	0:20	2・3塁	◆タッグプレイ(盗塁判定)練習(2盗・3盗) 10分で交代 ★「スタート」と「静止」	
14	16:20	16:30	0:10	本塁前	モデルチームへの挨拶・諸連絡	全員
15	16:30	17:00	0:30	会議室	○座学(規則改正等)【野口/小林】	
16	17:00	17:20	0:20	球場へ移動	宿舎へ移動	各自
17	17:20	18:30	1:10	宿舎	宿舎到着後、受付および入浴等	
18	18:30	21:00	2:30	宿舎	夕食意見交換会	全員

※時間配分は研修の状況により変更があります

第2日 5月21日(日)

福井県営球場

番号	開始	終了	時間	場 所	内 容	班
1	7:00	8:20	1:20	宿舎へ球場	朝食/移動(福井県営球場)→各自ウォーミングアップ	各自
	8:00	8:20	0:20	会議室	スタッフ事前打ち合わせ(メニュー、担当等の確認)	スタッフ
2	8:20	8:25	0:05	本塁前	モデルチームへの挨拶(福井工業大学付属福井高等学校/福井商業高等学校)	全員
3	8:25	8:50	0:25	外野	◆発声・ジェスチャーの基本練習【国雲(石川)/加藤(新潟)】	
4	8:50	9:30	0:40	本塁周辺4ヶ所	◆投球判定練習(10分×4ヶ所) ★「周囲に周知させるデクレア」	4班
5	9:30	9:40	0:10	3-本塁間	○ランダウンプレイの説明【担当 前坂/半田(長野)】	全員
6	9:40	10:00	0:20	1-2塁間、3-本塁間	◆ランダウンプレイの練習	2班
7	10:00	10:20	0:20	本塁周辺	○本塁周辺のプレイについて(本塁周辺でのラフプレイ時の処置)【小林/前坂】	全員
					①第三ストライク ②タイムプレイ	
					③タッグプレイの位置取り ④打球テリトリーの確認	
8	10:20	10:30	0:10		休憩	4班
9	10:30	11:50	1:20		◆フォーメーションの練習 ※基礎編【担当 前坂/国雲(石川)】	
					・走者なし、走者1塁 ※タイムプレイの実戦含む	
					◆フォーメーションの練習 ※応用編【担当 小林/加藤(新潟)】	
					・複数走者 ※インフィールドフライ含む	
10	11:50	12:40	0:50		◆フォーメーションの総合練習 ※試合形式【担当 長谷川/野口/小林/前坂】	全員
11	12:40	12:50	0:10	マウンド	○投手の投球・送球に関する説明【担当 吉田(福井)/林(富山)】	
12	12:50	13:00	0:10	本塁前	閉講式(モデルチームへの挨拶・講師講評【長谷川】・閉会の言葉)	

※時間配分は研修の状況により変更があります

※昼食時間を設けずに閉講式まで進んで行っています

～1日目～

朝5時に新潟を出発し、ノンストップで福井県営球場に9時20分ごろ到着。  
講習会まで時間があつたので宿舎の場所を確認、昼食を済ませて県営球場へ  
天候は曇りで気温も最適、グラウンドへ出る通路の罫、高さが低く頭を打ち付ける受講生多数。  
急遽、頭上注意の張り紙が・・・

日本高野連の小林講師が体調不良により残念ながら欠席、3人の講師による講習会となりました。

今回の講習会のテーマは『基本に忠実に！』

#### ☆発声、ジェスチャーの基本練習、球審マスクの取り外し

お互いに向かい合い各ジェスチャー（ストライク・ボール・プレイ・アウト・セーフ・タイム）の形を確認

タイムはしっかりと指と指の間隔を閉じ、上にまっすぐ上げる

マスクの着脱はライン際の打球判定に遅れないように左手で素早く、視線を下げず常にアップライトで行う

#### ☆球審の基本動作とストライクゾーン、打球判定

安定した構え、リラックスからコールまでのひとつひとつにしっかりとメリハリをつけること

トラッキングは打球が捕手のミットに収まり、その残像をベースの上まで戻す意識で

バッターボックスの前からストライクゾーンの高低、トラッキング、後ろから打者のアウトコース、横から距離と高さの確認者をつけての判定練習

ストライクコールの形からタイムをかける方がいたが、しっかりと腕を下ろしてからタイムをかける  
リラックスする場合も一緒

#### ☆打球判定

打球判定は非常に難しい。2人で追ってしまったら残りの2人でカバーするくらいの気持ちで  
リードステップはせずに打球にしっかりと近づき判定する

ベース手前は球審が判定、ベース含んで抜ける打球は塁審の判定が基本ですが、  
ポテポテの打球で野手が前進して来るような場合のみ球審が判定する等、打球の性質をみてどちらが判定するのかを踏み込んで打合せすることも大事

2分割の時、センター正面の打球に対しての判定は野手の動きを見1塁、3塁はどちらが行くのかを参考にすること

#### ☆フォースプレイ判定（走者なし、走者1塁）

1塁での悪送球の場合、打者走者の進塁行為を見逃さないのは勿論、野手の動きにも注意しプレイの邪魔にならないようにする

ダブルプレイの1塁判定は高校野球ではヘッドスライディングが多いため、やや角度をとった位置取りで距離が近くなるよう注意する

2塁判定で余裕のある場合はハンズオンニーセットポジションをとって、打球ばかり追わずにしっかりとプレイの予測をして止まって判定出来るようにすること

1塁側のバントのようなケースで送球の邪魔になるためショート側に動き判定する場合は45フィート辺りでの打球処理を予測した時点で移動すること、取ってから動いてはかえって送球の邪魔になってしまうので注意する

## ☆タッグプレイ（盗塁判定）

タッグプレイは衝突プレイ、一番大事なことは ①確保の確認 ②必ず止まって見る

2 塁の盗塁判定はスターティングポジションから 4 歩でジャッジポイントに行くことを推奨していますが  
出遅れた場合は角度をとって対応する

3 塁盗塁の場面、左打者の時はハーフスイングのリクエストが来る可能性があることも頭に入れておく

## ☆座学（規則改正等）

2023 年度の規則改正の説明（大谷ルール、サスペンデットゲーム）

高校野球ではどちらも影響が及ぶ規則改正ではないが 2022 年から継続試合を採用している

2023 年度の高校野球特別規則の変更点の説明

①高校野球で使用するバットのところに軟式も追加 ②ボールボーイ→ボールパーソン

③高校野球では投手交代の基準を明確にするため、準備投球を始める前であればまだ交代が可能である

④タイブレークは 10 回から ⑤投手は 1 日 15 回まで

2023 年「重点指導事項」【マナー】の徹底

①ユニフォームの着方 帽子の被り方等

②プレイ上の注意点 投手が打者を焦らそうとなかなか投げない等

③挨拶について 整列時に挨拶が揃わない等

## ☆夕食意見交換会

各県の代表者が前に出て挨拶の予定でしたが、新潟（5 名）は我々が島津審判委員長のご指示で  
全員前で自己紹介、その後は各県全員前で自己紹介となりました。

～ 2 日目～

昨日の曇り適温な天候とは打って変わり照り付ける日差し、「夏の大会の準備は出来ていますか」と問われているような暑い 2 日目となりました。

グラウンドに出るなり受講生はライトの位置へ。右翼手から 3 塁の判定はどのように見えるのか、聞こえるのかを長谷川講師が悪い見本を熱演して下さり受講生代表 2 名と比較。我々は選手に分かりやすく判定することは勿論、大きな声とジェスチャーに魂を込め観客にも伝わる判定をしてほしいと日差しにも負けない熱いご指導から始まりました。

## ☆発声、ジェスチャーの基本練習

ストライク・ボール・アウト・セーフの形を再確認

その後ゴー・ストップ・コール、動きながらしっかりと止まって判定する練習

ストップの時は必ずスタンディングの姿勢をとってからハンズオンニーセットになること

セーフの判定はひろげた手をしっかりと残すこと。ひろげた後に前に戻すがそこで残している方がいるので注意する



## ☆投球判定

球場のスコアボードに声をぶつけて跳ね返ってくるぐらいのコールをしてほしい

構えの足のスタンスが広いと小さく見えてしまうし打球判定の一步目が遅くなってしまうので注意する

## ☆ランダウンプレイ

ランダウンプレイの位置の基本は塁間の4分の1でプレイを見守り、まさにタッグが行われる時を読んでタッグを見にアジャストする

ランダウン時の『魔法の言葉は4という数字』

ポジショニングは塁間の4分の1

想定される4つのプレイ

①走塁妨害 ②守備妨害 ③空タッグ ④ラインアウト

オン・ザ・タッグはタイムプレイ時に球審にタッグ行為があったことを教えてやる時や

ここぞという場面で使い分けをしメリハリをつける

同一塁に2人の走者がいた場合はアウトの走者を先に判定してしまうとセーフの走者が勘違いしてベースから離れてしまうかもしれないのでセーフから判定してやる

しっかりと選手の目を見て分かりやすく判定すること

## ☆本塁周辺のプレイ

走者が落球を誘うため捕手に体当たりする、捕手が走者に対しレガースで本塁をブロックする危険な行為は選手にしっかり注意すること

出合いがしらのプレイはバッターボックスくらいまでその先で接触があった場合はどちらの妨害なのかをしっかりと見極める

振り逃げの場面で高校野球では手を横に『スイング』のシグナルはない

振り逃げ時のポイント

①ストライクスリーを残しすぎない

②落球したボールの状況を見極め、誰もが分かるような落球には何でもかんでもノーキャッチを入れない

タッグプレイの見方

基本は本塁ベースの後ろ約3mくらいの位置で十分見える

そこからスワイプタッグになった場合はタッグの見やすい位置にアジャストする

必ず止まって見ることが重要、止まって見れなければ基本の位置で判定する

申告故意四球

必ず伝令から受付（捕手からは受け付けない）、二人連続でも受付可能

①本部席に申告故意四球を通達

②打者をバッターボックスに入れますがダートサークル中にいる場合など状況見てテンポアップ、臨機応変に対応してほしい。いちいち構えさせる必要はない

※放送を待ってから打者を一塁への必要はない

## ☆フォーメーション

フォーメーションの総合練習の総評

ベースアンパイアは常にボールに注目しておく

ボール回しの最後に一塁手が投手に近づきボールを渡したり、2塁・遊撃手が歩いて定位置に移動していないか等を注意し2塁アンパイアが先頭に立って試合の流れを作ってやること

アウト・セーフの判定だけではなく

ボールデット中にどういふふう試合を動かしていくのかを意識してやってください

## ☆投手の送球、投球に関して

ヒールアップは走者がいたらしない行為、いない時でも勢いをつけないようにしっかりと今後も指導していきましょう

捕手のサインを見た後、起き上がり周りを見てからセットに入る投手がありますが規則上はダメですが高校野球は容認している

投球時にグラブを叩いて投げる投手にはグラブから手を大きく出してはみ出すような投球は指導するグラブの中でやるようなら問題なし

## ～所 感～

この度は、北信越講習会に参加させていただきありがとうございました。

2日間とも天候に恵まれ、最高のグラウンドコンディションで受講することができ日本高等学校野球連盟の派遣講師をはじめ、甲子園で全国審判講習会を受けられた各県の補助講師の方々からも直接ご指導、甲子園講習でのお話を聞いて非常に勉強になりました。

また北信越地区の審判委員との意見交換、交流会等大変良い刺激となり充実した時間となりました。

今回の講習会で学んだことをしっかりと伝達し、信頼される審判委員となれるよう今後も精進していきます。

そして高校3年生にとって最後の夏、選手に負けない魂のこもった判定で素晴らしい試合が出来るよう頑張ります。

最後にこの様な機会を与えていただきました新潟県高等学校野球連盟をはじめ、審判委員の皆様、この講習会にご尽力いただきました関係者各位に感謝を申し上げ講習会の報告とさせていただきます。